

1. 対象部材

カーテンレール用キャップストップ

略称：CjK キャップストップ

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

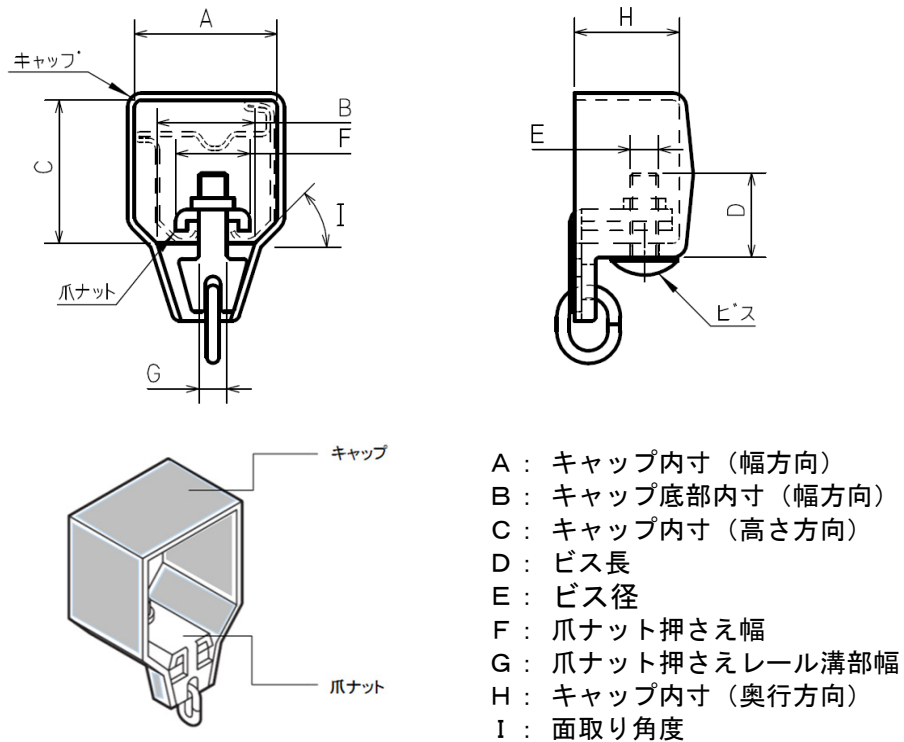


図1 標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	①	②
A：キャップ内寸（幅方向）	20.4	23.4
B：キャップ底部内寸（幅方向）	14.0	—
C：キャップ内寸（高さ方向）	20.3	16.0
D：ビス長	12.0	
E：ビス径	M4	
F：爪ナット押さえ幅	10.6	14.7
G：爪ナット押さえレール溝部幅	4.0	—
H：キャップ内寸（奥行方向）	15.0	14.0
I：面取り角度	45°	—

①：CJK基準書”065カーテンレール用ランナー”及び”118カーテンレール”の①に対応

②：CJK基準書”065カーテンレール用ランナー”及び”118カーテンレール”の②に対応

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。または、”CJK”マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 関連部材が具備すべき条件

使用するカーテンレール及びカーテンレール用ランナーは、CJK部材基準書”118カーテンレール”及び”065カーテンレール用ランナー”の使用を前提とする。

6. 解説

特に無し。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

8.1 2021年09月24日改訂

- ・”3. 寸法・形状”表1－各部位の寸法の下に対応するCJK部材を加筆した。
- ・”5. 特記事項”5.1関連部材が具備すべき条件について該当するCJK部材基準書に変更した。